

# 2016年12月期 第3四半期決算

---

アプリックス I Pホールディングス株式会社  
2016年11月10日



# 16年12月期第3四半期 決算実績

---

取締役 CFO 長橋 賢吾

# 16年12月期第3四半期 累計P/L



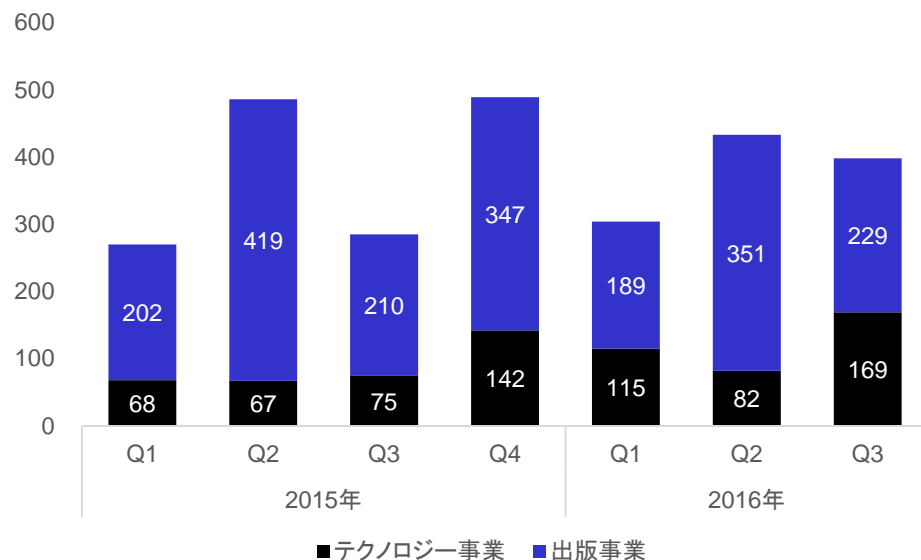
| (単位:百万円)             | 売上高   | 営業利益   | 経常利益   | 親会社株主に<br>帰属する四半<br>期純利益 |
|----------------------|-------|--------|--------|--------------------------|
| 15年12月期<br>Q3累計実績(A) | 1,042 | △2,038 | △2,030 | △2,584                   |
| 16年12月期<br>Q3累計実績(B) | 1,138 | △793   | △809   | △843                     |
| 増減額(B-A)             | +96   | +1,245 | +1,221 | +1,741                   |
| 増減率(%)               | 9.2%  | —      | —      | —                        |

✓ 前期からのコスト削減効果で営業利益は1,245百万円改善

# 16年12月期第3四半期 売上高セグメント別推移



単位：百万円



| ( 単位：百万円 ) | 2015年 | 2016年 | 増減率     |
|------------|-------|-------|---------|
|            | Q3    | Q3    |         |
| テクノロジー事業   | 75    | 169   | +125.3% |
| 出版事業       | 210   | 229   | +9.05%  |
| ( 売上高合計 )  | 285   | 398   | +39.6%  |

## テクノロジー事業：

Q 3 にIoT開発案件を納品、前年同期と比べて大幅に売上高は伸長

## 出版事業：

コミック：新刊28点、増刷34回実施

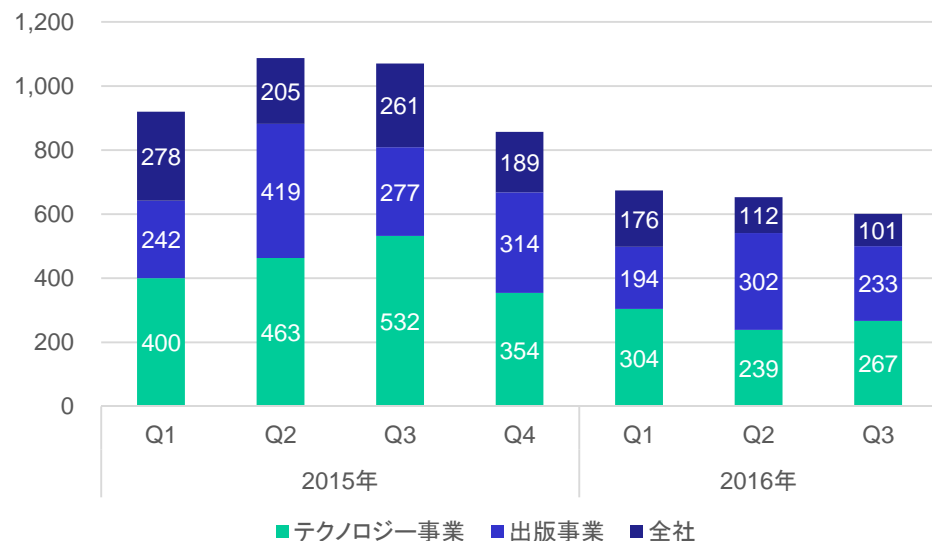
男性向け「お前ら全員めんどくさい！」女性向け「同居人はひざ、時々、頭のうえ。」などが好調

絵本・児童書：新刊33点、増刷136回実施。「Wonder ワンダー」などが好調

# 16年12月期第3四半期 営業費用セグメント推移



単位：百万円



| (単位：百万円) | 2015年<br>Q3 | 2016年<br>Q3 | 増減率    |
|----------|-------------|-------------|--------|
| テクノロジー事業 | 532         | 267         | ▲49.8% |
| 出版事業     | 277         | 233         | ▲15.9% |
| 全社費用     | 261         | 101         | ▲61.3% |
| (営業費用合計) | 1,071       | 601         | ▲43.9% |

## テクノロジー事業：

人件費等の減少で前期以降コスト削減トレンド継続 前年同期比▲49.8%

## 出版事業：

売上減少にともなうコスト減 前年同期比▲15.9%

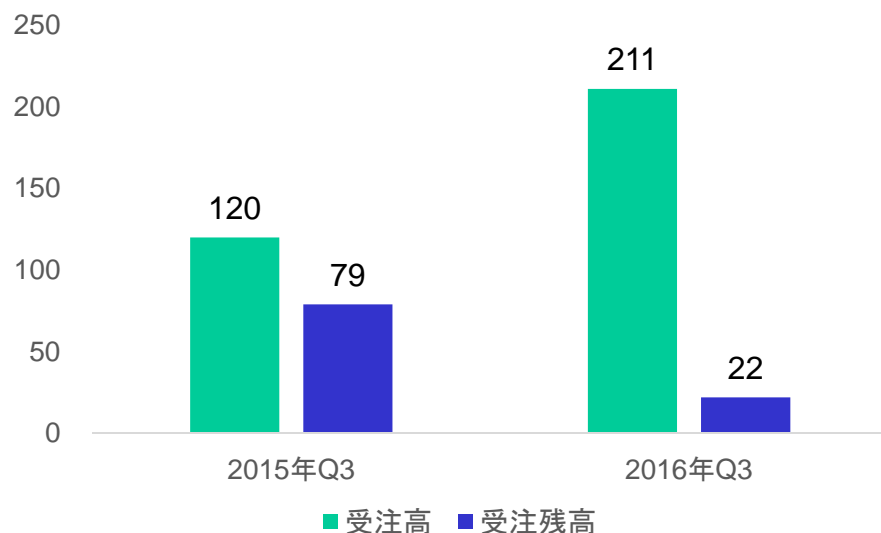
## 全社費用：

人件費減、コスト削減施策により全社コスト削減 前年同期比▲61.3%

# 16年12月期第3四半期 受注高・受注残高



単位：百万円



| (単位：百万円) | 2015年<br>Q3 | 2016年<br>Q3 | 増減率    |
|----------|-------------|-------------|--------|
| 受注高      | 120         | 211         | +75.8% |
| 受注残高     | 79          | 22          | ▲72.2% |

## 受注高・受注残高：

受注高については、Q 3 で大幅伸長、受注残高については、Q 3 に IoT 案件納品のため減少、Q 4 以降での積み上げを実施中

# 16年12月期 通期業績予想



| (単位:百万円)             | 売上高   | 営業利益   |
|----------------------|-------|--------|
| 2015年12月期(A)         | 1,532 | ▲2,406 |
| 2016年12月期<br>業績予想(B) | 1,650 | ▲998   |
| 増減額(B-A)             | +118  | +1,408 |
| 増減率(%)               | +7.7% | —      |

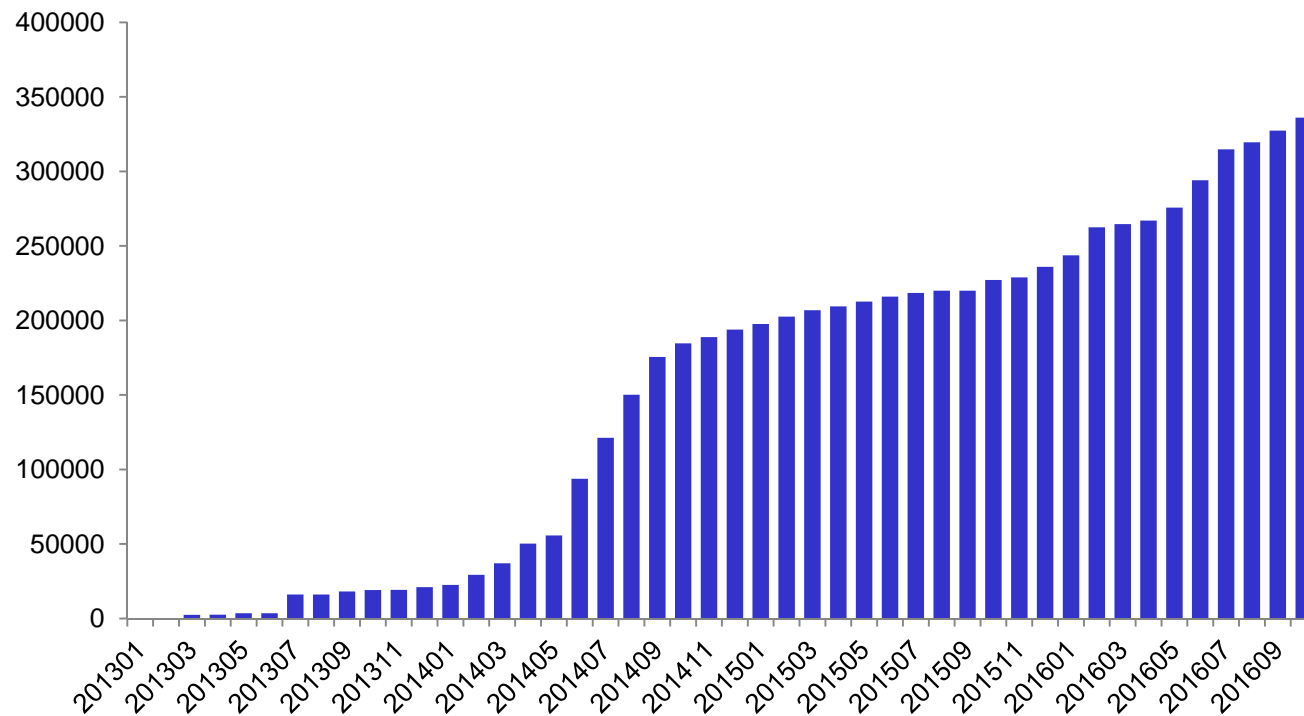
業績予想は変更なし

# BLEモジュール出荷台数



16年7月に、BLEモジュール累計出荷台数30万台を突破

(単位：台)



出所：会社資料

BLEモジュール、JMシリーズ、MyBeaconシリーズ、その他を合計したもの



# 16年12月期第3四半期 主要トピックス1



2016年7月20日発表

## Bluetooth Low Energy モジュールの累計出荷台数が 30 万台突破

当社では、前年度(平成 27 年 12 月期)以前においては、顧客に対して主にコンセプトの提案が主流であったものの、平成 28 年 5 月 30 日付「当社 IoT ソリューション搭載製品がフランス大手小売店舗にて販売開始」等の発表で見られるとおり、今年度(平成 28 年 12 月期)より IoT 製品の量産化に向けた受注及び出荷台数が増加しております。

こうした家電機器等向け BLE モジュールである「JM1 シリーズ」にくわえて、米国 Apple Inc. の iBeacon に準拠した Bluetooth Smart 製品である「MyBeacon シリーズ」の販売も堅調に推移しており、その結果、販売開始以来両シリーズあわせて累計出荷台数が 30 万台を突破しました。

# 16年12月期第3四半期 主要トピックス2



2016年9月7日発表

## ブラザーエンタープライズIoT LEDライト「MAmoriait」に当社IoTソリューション搭載

当社のIoTソリューションが、株式会社ブラザーエンタープライズ(以下「BeP社」)製スマートフォン対応IoT LEDライト「MAmoriait(マモリアアイティー)」に搭載されたことを発表いたしました。

BeP社では、災害停電時などに安心な振動検知照明装置・LEDライト「MAmoria(マモリア)」シリーズを展開してきましたが、この度開発された「MAmoriait」は、従来の「MAmoriaシリーズ」と同様に地震などの揺れを感じたときに自動的に点灯する機能に加えて、あらかじめスマートフォンとペアリングしておくことで、次のようなIoT機能を実現しています。

- ・ 緊急速報メールに連動して、ライトを点灯したり、ブザーを鳴らしたりする機能
- ・ 天気情報に連動して、毎朝決まった時間に、ライトの色の变化やフラッシュによって今日の天気をお知らせする機能
- ・ 「MAmoriait」にスマートフォンをかざすと、天気情報をスマートフォンに表示する機能
- ・ 電池残量が少なくなったことをスマートフォンへ通知する機能

# 16年12月期第3四半期 主要トピックス3



2016年10月17日発表

## ネスレ日本の次世代コーヒーマシン「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i [アイ]」向け アプリケーション及びクラウドシステムを開発

世界最大の食品・飲料会社「ネスレ」の日本法人であるネスレ日本株式会社（以下「ネスレ日本」）が発売したコーヒーマシン「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ i [アイ]」（以下「バリスタ i [アイ]」）向けのアプリケーション「ネスカフェ アプリ」及びクラウドシステムの開発を実施したことを発表いたしました。

ネスレ日本が2016年10月1日に発売した「バリスタ i [アイ]」は、累計販売台数300万台を超えた「ネスカフェ ゴールドブレンド バリスタ」に、新たにBluetooth機能を搭載した次世代のコーヒーマシンです。スマートフォンに無料アプリケーション「ネスカフェ アプリ」をインストールし、「バリスタ i [アイ]」と連動させることで、コーヒーの飲み方・楽しみ方が更に広がります。

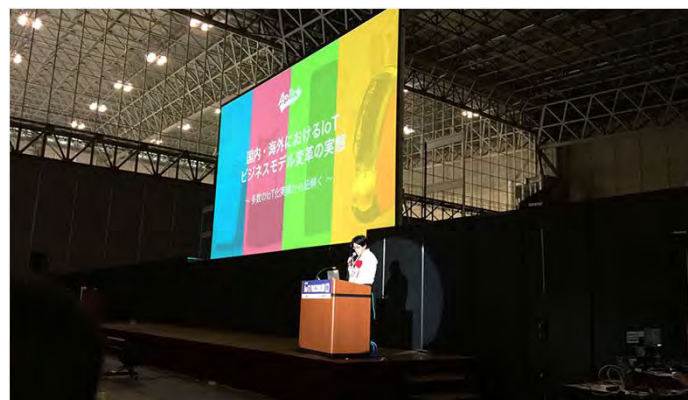
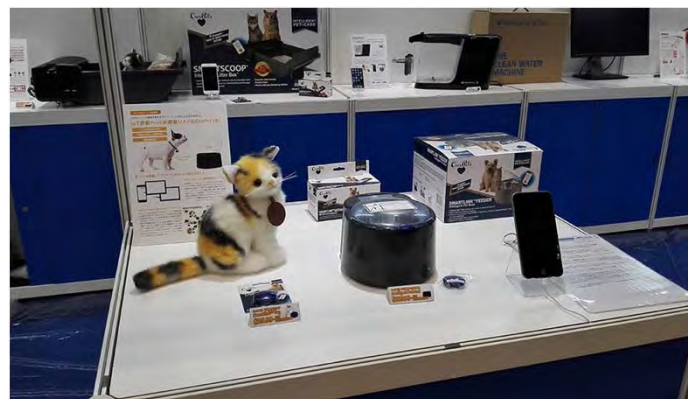
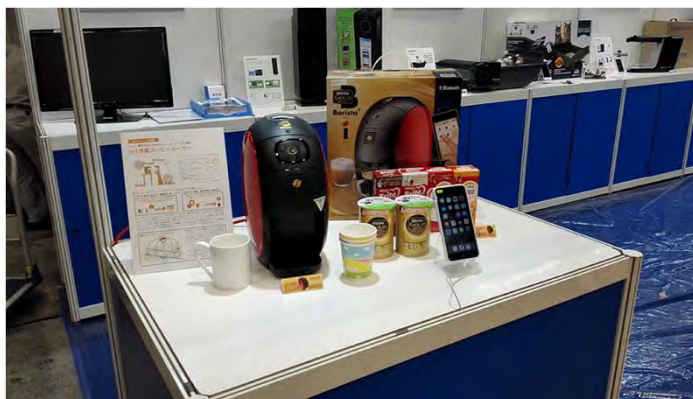
# 16年12月期第3四半期 主要トピックス4



## 「第2回 IoT/M2M展 秋」に出展

2016年10月26日(水)～28日(金)に開催された「第2回 IoT/M2M展 秋」において、当社が持つIoT化の実績を多数展示いたしました。

また、当社 CTO 石黒邦宏 が「国内・海外におけるIoTビジネスモデル変革の実態～多数のIoT化実績から紐解く～」と題し、講演を行いました。



## その他のトピックス



### 子会社3社の共同株式移転による中間持株会社設立（平成28年9月23日発表）

非中核事業である出版事業の切り離しの検討を進めている中で速やかな事業再編の実施を可能とすることを目的として、当該3社の共同株式移転による中間持株会社「アプリックス出版ホールディングス株式会社」を設立。

### 非収益部署の廃止（平成28年9月30日発表）

海外顧客向け営業活動に注力するため、国内の新規顧客を開拓する営業活動を行っていた国内営業部門、及び製造・企画部門を廃止。今後は、当社IoTソリューションを採用し始めた様々な業種の国内外の顧客と密に連携した委託開発事業等により次世代のIoTソリューションを実現し、より迅速に収益性を確保することで、今後のIoTソリューション事業の成長を加速させることが可能に。

### 株式会社NTTドコモとの業務・資本提携終了（平成28年10月28日発表）

Java 技術の中核とした端末ミドルウェアに関する技術協力を行うなどの業務提携を目的に、平成17年11月30日に締結した株式会社NTTドコモとの業務・資本提携契約について、当社において中核事業であるIoTソリューション事業が立ち上がってきていることから、今後の事業方針を踏まえ、本業務・資本提携契約を終了。

# 補足資料 - Appendix

---

# アプリックス：会社概要



## ◆ 会社名

アプリックス I Pホールディングス株式会社  
[英文表記：Aplix IP Holdings Corporation]

## ◆ 本社所在地

〒160-0051  
東京都新宿区西早稲田二丁目20番9号

## ◆ 設立年月日

1986年2月22日

## ◆ 資本金

13,882百万円 [2016年6月末現在]

## ◆ 売上高

1,532百万円 (連結) [2015年12月期]

## ◆ 従業員数

132名 (連結) [2015年12月末現在]

## ◆ 役員

|               |       |
|---------------|-------|
| 代表取締役 兼 取締役社長 | 郡山 龍  |
| 取締役           | 長橋 賢吾 |
| 取締役           | 石黒 邦宏 |
| 社外取締役         | 平松 庚三 |
| 常勤監査役         | 根本 忍  |
| 社外監査役         | 新田 喜男 |
| 社外監査役         | 山田 奨  |

## ◆ 事業内容

テクノロジー事業  
出版事業

## ◆ グループ会社

株式会社アプリックス  
フレックスコミックス株式会社  
株式会社ほるぷ出版  
Aplix Corporation of America  
Aplix Ireland Limited  
アプリックスIPパブリッシング株式会社 他

## **郡山 龍（代表取締役CEO）**

早稲田大学理工学部在学中にマイクロソフト社入社。1986年ソフトウェアの開発を目的として、株式会社アプリックス設立。CD-ROM書き込み装置、CD-I、DVI関連システムなどを開発する。1997年に発表した家電等の組み込み向けのJavaプラットフォーム「JBlend」は、世界中の家電、携帯電話に組み込まれ、世界シェア3割まで拡大、2003年、アプリックスを東京証券取引所マザーズ株式上場に導く。現在は、「IoTを実現する技術」で新しいビジネスモデルを開拓。

## **石黒 邦宏（取締役CTO）**

北海道大学農学部を卒業後、株式会社SRA、ネットワーク情報サービス株式会社を経て、株式会社デジタル・マジック・ラボでUNIXソフトウェアの開発、インターネット経路制御の運用に関わり、オープンソースウェアで経路制御を実現するGNU「Zebra」を開発。そして、「Zebra」をベースにした商用ソフトウェアである「ZebOS」を開発・販売するために、1999年10月、米国にてIP Infusionを創業。「ZebOS」は、世界中のルーターやスイッチメーカーに採用。株式会社ACCESS取締役CTOを経て、2015年4月に当社CTO、2016年3月より当社取締役に就任。

## **長橋 賢吾（取締役CFO）**

慶應義塾大学環境情報学部卒業。同大学院政策・メディア研究科修了、2005年東京大学大学院情報理工学研究科修了。博士（情報理工学）。英国ケンブリッジ大学コンピュータ研究所訪問研究員を経て、2006年日興シティグループ証券（現、シティグループ証券）にてITサービス・ソフトウェア担当の証券アナリストとして従事後、2009年3月フューチャーブリッジパートナーズ株式会社設立。2015年3月より当社取締役・CFO・チーフエコノミスト。



## 創業から上場までの製品

1986年：創業  
2003年：上場

NeXT Computer System用の  
アプリケーションソフトを発売した  
最初の日本企業



## CD-ROM オーサリングツール



WinCDR 6.0  
Premium Package



DOS/V POWER REPORT Magazine  
RECOMMENDED Product (GOLD  
Prize)(Feb, 2001)

Logitech  
CD-R/RW Drive for  
Macintosh & Windows  
LCW-R6406U



DOS/V magazine 2000/8/15  
Technical Test Labs  
Tester's Choice & Observer's  
Choice



Panasonic  
CD-R/RW Drive for USB Interface  
LK-RW7585UZ



IBM  
Aptiva Series



SONY  
Portable CD-R/RW Drive  
CRX76A / CRX76U

## カーナビゲーションシステム



## コンシューマ製品向けJava



Sony Electric  
Digital Photo Album  
DMA-100



Sony Digital photo printer  
DPP-SV88



Sony  
digital video camera  
MD-DISCAM  
DDMH1



Pioneer Digital STB for CATV  
BD-V500



Sony Electric BS/CS Digital TV

Powered by



Sony  
Electric POS Terminal  
M8C-100



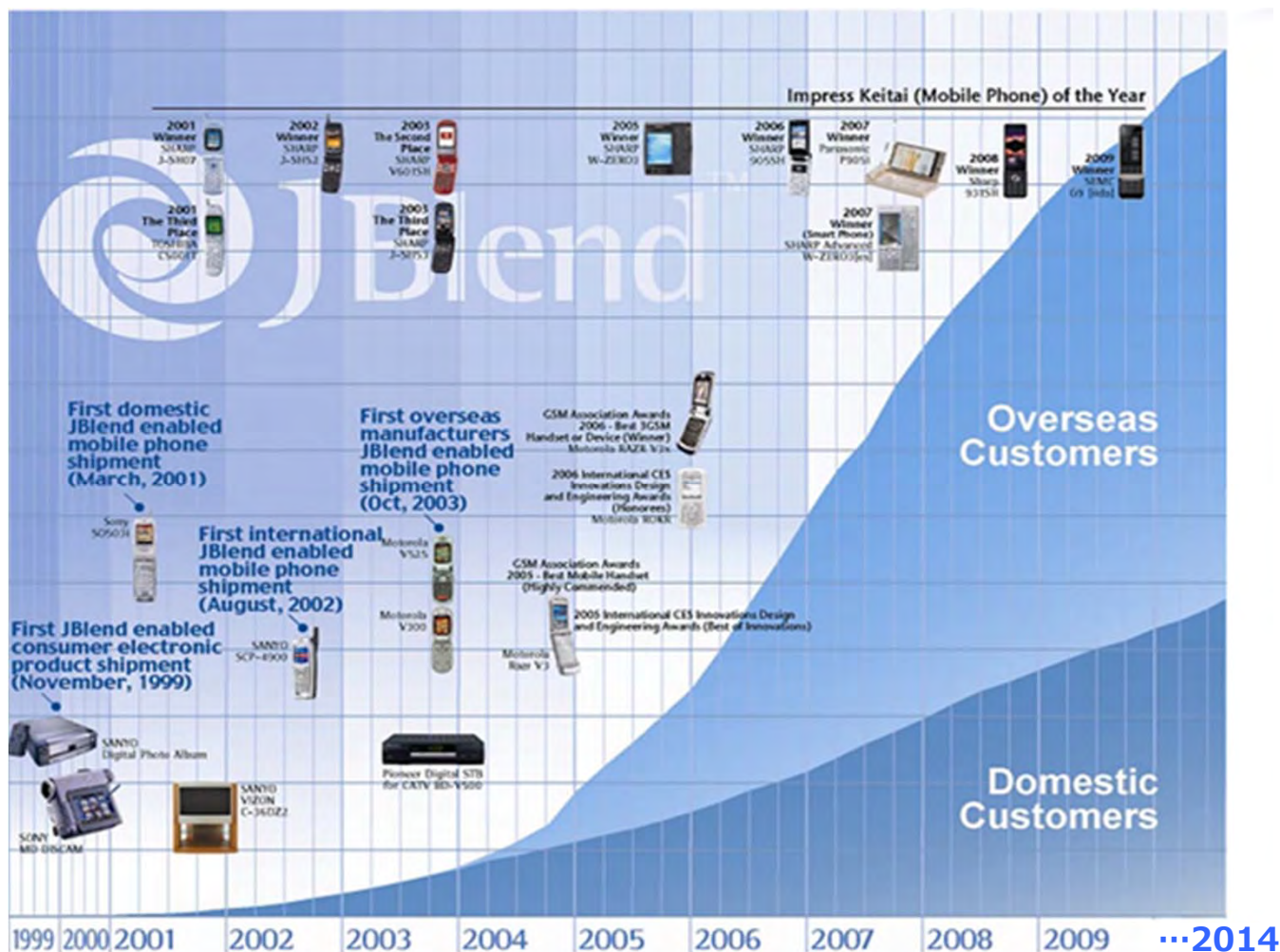
PFI  
Java based palm  
size computer  
BossaNova



Nissan/Sony  
Car  
navigation  
system  
H8760A

# JBlend : 8億台以上の出荷実績

全世界で8億台（2014年末時点）を超える携帯電話にアプリックスの技術が搭載・出荷されています。  
 JBlendは、アプリックスが株式上場する直接的な原動力となった技術です。

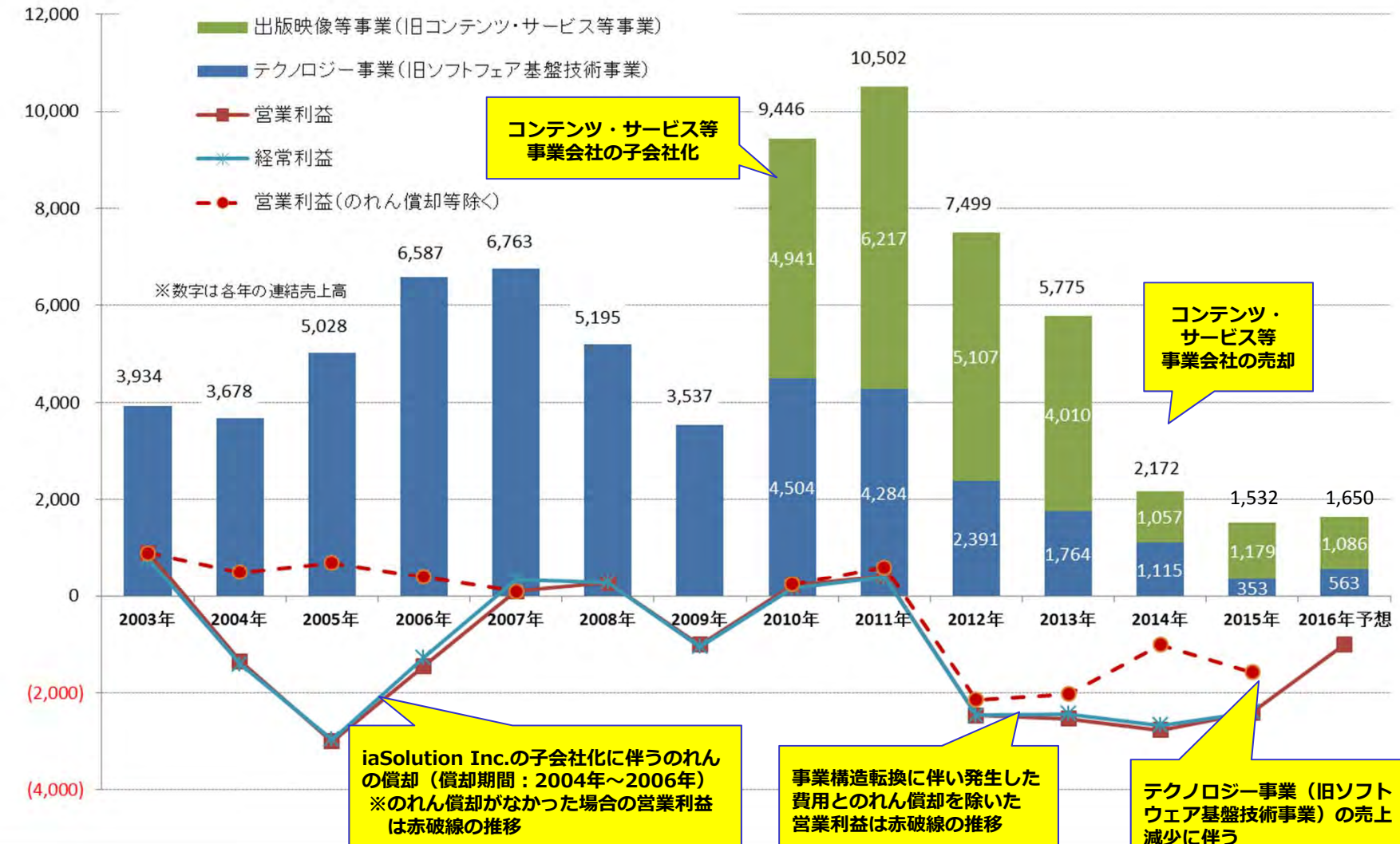


# IoTスタートアップ



## 旧来事業の整理を完了して、IoTスタートアップ企業として再スタート

(単位: 百万円)



Aplix



アプリックスIPホールディングス株式会社

<http://www.aplix-ip.com/>

株式会社アプリックス

<http://www.aplix.co.jp/>

ご注意：本資料は、当社の事業内容等に関する情報の提供を目的としたものであり、当社株式の投資勧誘を目的とするものではありません。本資料の内容には、将来の業績に関する予測等の情報を掲載することがありますが、これらの情報は、資料作成時点の当社の判断に基づいて作成されております。よって、その実現を約束するものではなく、また今後予告なしに変更されることがあります。